

要望活動の実施について

8月31日(月)、岡部町長が、財務省、国土交通省、独立行政法人水資源機構および地元選出の国会議員に対し、要望活動を実施しました。

《要望内容》揖斐川河川整備事業・越美山系砂防事業・木曽川水系連絡導水路事業・町道事業などに係る予算の確保および事業の推進

《主要要望先》国土交通省佐々木副大臣／国土交通省水管理・国土保全局長／本局長／国土交通省道路局杵掛局長／財務省主計局橋本主査／水資源機構岡村理事長／棚橋衆議院議員／渡辺参議院議員／若井参議院議員



▲【国土交通省】棚橋衆議院議員(右) 立会いのもと、佐々木副大臣(中)へ要望書を手渡す岡部町長

災害時における物資および道路啓開等の支援に関する協定を締結しました

9月15日(火)、自然応用科学株式会社と災害時における物資および道路啓開等の支援に関する協定を締結しました



▲【水資源機構】岡村理事長(左)へ要望書を手渡す岡部町長



▲【財務省】棚橋衆議院議員(右) 立会いのもと、主計局 橋本主査(中)へ要望書を手渡す岡部町長

した。

協定締結先である同社は、谷汲地域に事業所を新設し、汲み上げた地下水をペットボトルにして販売していることから、今回災害時において、飲料水の提供および自社の重機を使用した倒木や土砂の除去について支援をいただけることとなりました。

締結式で岡部町長は、「この度の熊本地震でも多くの地域で断水が発生しており、本町でも同様の事態は想定される。同社から災害時に飲料水提供の話をしていただけたのは大変ありがたい。これからも町の安心安全のため、ご支援ご協力をお願いしたい」とあいさつしました。

今後も、町の安全安心なまちづくりのため、必要な防災対策を進めていきます。



▲締結式の様子

セントジョージマラソン 国際交流事業

9月30日(水)から10月7日(水)まで、アメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市とのマラソン交流事業が行われました。2025年のいびがわマラソンで優秀な成績を収めたランナーの皆さんが、10月3日(土)開催のセントジョージマラソンに参加されました。

成績は次のとおりです。(敬称略)
酒井 一 2時間17分8秒

森 裕二 3時間7分32秒
(男子フル 3位)(年代別 3位)

御田村 智子 5時間23分6秒
(女子フル 1587位)(年代別 25位)

※安留ゆかりさんは、体調不良のため棄権されました。



▲ランナーの皆さん



▲右二人目から順に、山本会長、赤田さん、牧村さん、下吉さん

揖斐川ライオンズクラブから揖斐川吹奏楽部へ楽器が寄贈されました

9月3日(木)、揖斐建設会館で、揖斐川ライオンズクラブから揖斐川吹奏楽部への楽器贈呈式が行われ、山本直人会長から揖斐川吹奏楽部部長の赤田柚さん、副部長の牧村柚希さん、下吉空美さんへ目録が手渡されました。

この度の寄贈は、揖斐川ライオンズクラブ65周年を記念したもので、ホルンとクラリネットが贈られました。贈呈式で赤田さんは「楽器は私たちの財産です。これからも楽器を大切に使って、部員みんなで成長していきたいです」と感謝の言葉を語りました。

友好都市・北海道芽室町で開催されたゲートボール大会に出席しました

毎年8月末に芽室町で開催されている「第39回発祥の地杯全国ゲートボール大会」の開会式に町長と副議長が出席しました。

芽室町はゲートボール発祥の地です。1947年、鈴木栄治(のちに改名して和伸)が芽室町で、ヨーロッパの伝統的な競技「クロッケー」をヒントに、戦後の混乱の中で満足な遊具がない子どもたちのために「手軽に遊べる健全なスポーツ」として考案しました。大会には全国から48チーム284名、最年少10歳から最高齢94歳が参加しました。幅広い世代の方がひとつのコートでプレーできるのもゲートボールの特徴です。

揖斐川町からは友好の証として上位入賞者に特産品を贈呈しました。



▲開会式で始球式を行いました

中学生・高校生海外研修派遣事業派遣認定書交付式

9月25日(金)、揖斐川町役場で令和8年度中学生・高校生海外研修派遣事業派遣認定書交付式が行われました。

この事業は、マラソン交流を続けているアメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市に、町の将来を担う中学生と高校生を派遣し、現地の人々との交流を通じて、文化や歴史などを学び、国際性豊かな人材の育成を図ることを目的として行われています。今年度の派遣は、第27回目となります。

派遣される18名の生徒は、町長から派遣認定書を手渡され、意気込みを語りました。なお、派遣期間は、来年1月15日(金)から22日(金)の予定です。



▲派遣認定書を受け取る生徒

揖斐川町住民避難訓練および、避難所設営・運営訓練を実施しました

9月27日(日)、南海トラフ地震を想定した、揖斐川町住民避難訓練および避難所設営・運営訓練が行われました。訓練は、静岡県駿河湾から紀伊半島南東沖を震源とする地震が発生したことを想定したもので、町内全域を対象として避難訓練を実施し、その後、胥永公民館および各振興事務所管内の会場で、避難所設営・運営訓練を実施しました。

主会場の胥永公民館では、ぎふ防災・減災センターによる防災講演、岐阜県防災課によるLINEを活用した避難所チェックインの実証実験、揖斐川町社会福祉協議会によるボランティアセンター開設訓練および揖斐川町消防団胥永分団による防災設備(防災井戸、かまどベンチ、マンホールトイレ)の実演などさまざまな取り組みが行われ、地域と一体となって防災意識を高めました。



▲防災訓練の様子